

6月のどきどき

みんなで植えたよ！

6月3日、田中孝さん（早来北進）が所有する田んぼの一角で、早来小学校5年生の田植え学習が行われました。

雨がばらつく中での田植え体験となりましたが無事に終了。「大変だったけど楽しかった」と児童の声を聞くことができました。今後は、収穫まで田んぼ観察などを経て成長を見守っていくそうです。



1年ぶりのオープン

6月4日、そば哲本店（東早来）の駐車場ではやこい市がオープンしました。

昨年の休業を経て、1年ぶりのオープンを迎え、店頭には採れたての新鮮野菜や花苗が並び、それらを買いたい求める多くの方で賑わいました。

6月から毎週土曜11時から13時までオープンしているはやこい市。機会がありましたら、ぜひ足を運ばれてみてはいかがでしょうか。

勝利目指し必死の攻防

6月12日、第5回はいチーグズ！ニコニコカップがはだしの広場で開催され、安平町の早来フェリーレFCをはじめ道内各地から全29チーム約370人の選手が参加。

大会は世代ごと3つのカテゴリーに分かれて行われ、各ゲームで勝利を目指しハッスルプレーが行われました。
【早来フェリーレFC結果】
9歳以下 敢闘賞
11歳以下 準優勝
13歳以下 4位



気持ち込めた一投

6月12日、ときわスケートリンク内グラウンドで、第17回ホスピタリティー安平ペタシク選手権大会が開催され、安平町の6チームを含む52チームが出場。中には、京都府から参加するチームもありました。

どのチームも優勝を目指し真剣勝負が繰り広げられ、安平町から出場の安平A（山本さん・田村さんペア）が4位と健闘を見せ、大会の幕を閉じました。



被災者支援に熊本へ

道教育委員会が公募した熊本地震被災者支援事業に手を挙げた追分小学校の高石教諭が、7月1日から3月31日まで熊本県山都町立潤徳小学校へ派遣されることが決定。6月27日、出発のあいさつに豊島教育長を訪問しました。

追分小学校で5年生を受持つ高石教諭にとって、被災地の様子も気になりつつ、年度の途中で追分小学校の教え子と離れることに「理解が得られるだろうか」と不安があったようですが、北海道からただ一人だけ代表になった校長先生が紹介したことで、教え子たちからたくさんの方の応援の拍手が沸いたそうです。

派遣先の潤徳小学校は、全校児童65人。高石教諭は3、4年生の複式学級の担任教諭をサポートし、学習支援や心のケアなどにあたります。

派遣期間中は、電子メールなどで追分小学校と潤徳小学校の交流も考えているそうだが、「子どもたちの互いの様子を伝え合いたい」と意欲的に話していました。離れるこ